

生きる、を支える科学技術

SCIENCE FOR RESILIENCE



防災科研

令和2年 7月23日 (木) 採用説明会

■ 防災科学技術研究所の使命

「災害から人命を守り、災害に強い社会を実現するための科学技術を発展させること」

生きる、を支える科学技術

SCIENCE FOR RESILIENCE

地震、津波、噴火、暴風、豪雨、豪雪、洪水、地すべり。
自然の脅威はなくなる。

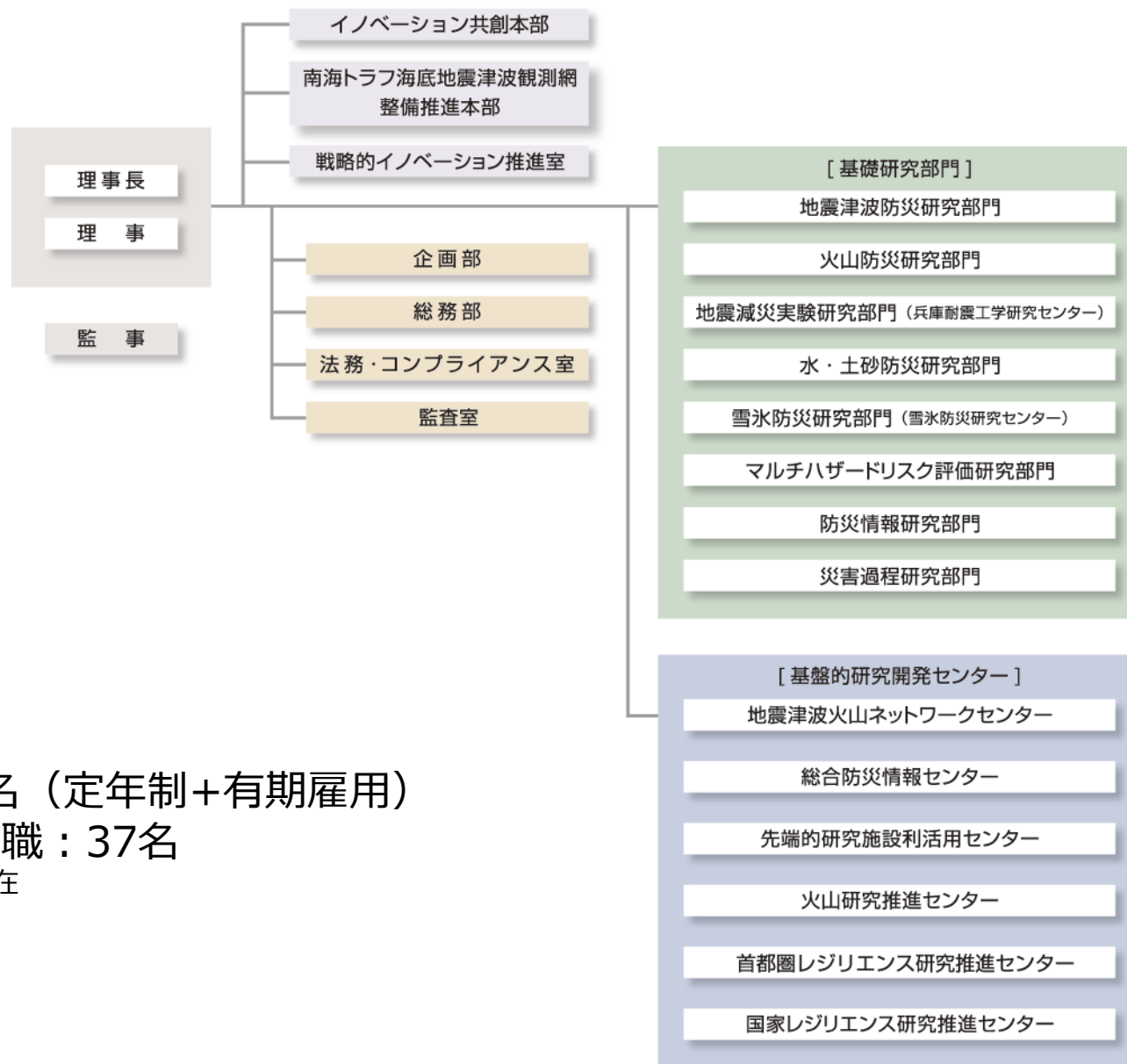
でも、災害はなくすことができると、
私たち防災科研は信じています。

この国を未来へ、持続可能な社会へと導くために。

防災科学技術を発展させることで
私たちは人々の命と暮らしを支えていきます。

さあ、一秒でも早い予測を。一分でも早い避難を。
一日でも早い回復を。

■ 組織

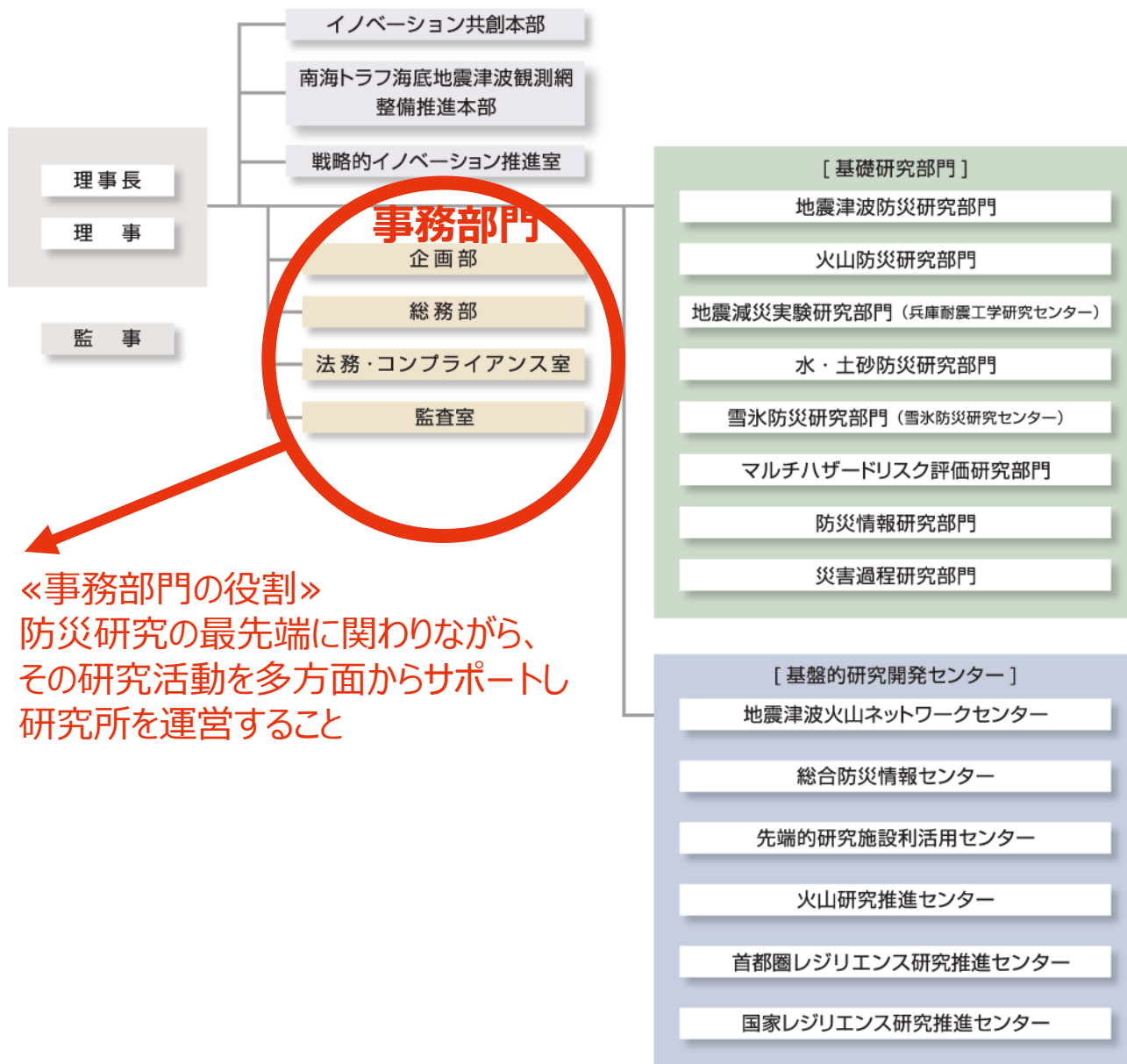


職員数：386名（定年制+有期雇用）

うち定年制事務職：37名

※令和2年4月1日現在

■ 組織



«事務部門の役割»
 防災研究の最先端に関わりながら、
 その研究活動を多方面からサポートし
 研究所を運営すること

■ 組織

それぞれの部署の業務内容

企画部	業務内容
企画課	予算要求・研究所運営業務・政府要人対応、災害発生時等緊急時における総合調整
広報・ブランディング推進課	広報活動の企画立案、マスメディア、WEBによる情報発信、研究成果の広報支援
国際課	国際関係の総合調整、在外研究員派遣手続き支援
研究推進課	外部資金管理・共同研究や施設貸与の対応
総務部	
総務課	人事・労務・給与・文書・庶務
経理課	財務・資産管理・出納
契約課	物品役務等の調達、発注業務
施設課	所内安全保持・設備等の維持管理業務
ICT統括室	所内ネットワークの管理・運営・情報セキュリティ・情報化推進
法務・コンプライアンス室	リスク管理、内部統制・法律相談・訴訟及び法令に基づく手続き・法令、諸規程等の遵守
監査室	業務監査及び会計監査

■雇用条件について

国家公務員に準拠

▼採用時期：令和3年4月1日（既卒者は応相談）

▼勤務時間 9時00分～17時30分（昼休み45分間 12時15分～13時00分）

▼初任給

大卒 180,700円～ ※経験年数等により加算あり

▼諸手当

住居手当(上限28,000円/月)、地域手当(本給の15%)、通勤手当（上限55,000円/月）
扶養手当、賞与（年2回）等

▼休暇

年次有給休暇、夏季特別休暇、育児休暇等

▼研修制度

初任者研修、英語研修、Eラーニングによる研修等

▼福利厚生施設

食堂、グラウンド、テニスコート(各種部活動あり)

■ 入所後のキャリアパスのイメージ

年齢目安	役職	年収目安
60歳		定年
		↑
50代	課長	8,700,000円程度～
		↑
40代	課長補佐	6,100,000円程度～
		↑
30代	係長	4,600,000円程度～
		↑
入社	係員	3,400,000円程度～

※勤務成績、業績評価により、昇進を決定される

■子育て支援制度（一部）について

▼産前産後休暇

出産（予定）日の前6週～後8週間の休暇が取得できます

▼出産手当金

産前産後休暇の間、日額の約2/3が1日単位で支給されます

▼出産費

一人の出産につき、最大460,000円が支給されます

▼出産立会休暇

男性職員の妻が出産する際に、最大2日間の休暇が取得できます

▼育児休業

子供が満3歳になるまでの間の休業が取得できます

▼育児休業手当金

休業開始後、子供が1歳になるまでの間、日額の約50%（休業開始後180日までは67%）が1日単位で支給されます

▼育児短時間勤務制度

子供が満3歳になるまで、1日の就業時間を短時間にして勤務をすることができます

■採用説明会について

▼日時 : 7月28日(火)・7月31日(金)
14:30~

▼場所 : 防災科研つくば本所
茨城県つくば市天王台3-1

▼定員 : 20人/1日まで

▼申込方法 : [【koubo@bosai.go.jp】](mailto:koubo@bosai.go.jp)宛てに、希望の日程・氏名を明記のうえ
メール件名を「説明会申し込み」としてご連絡ください。

※定員に達した時点で終了とさせていただきます。なお、新型コロナウイルス感染症の
拡大の懸念により、中止となる場合がございますので、ご了承ください。

■ 今後の採用スケジュールについて

8月5日（水） : 応募締め切り（応募書類必着）

弊所ホームページに募集要項を掲載しております。

※弊所指定様式をホームページからダウンロードしてご応募ください。

（防災科研ホームページ上メニューボタン →防災科研の情報発信 →公募・入札情報
→採用情報 →事務系職員履歴書）



8月上旬 : 書類選考・WEB適正試験

※書類選考通過者にご案内致します。



8月下旬 : 面接（防災科研 つくば本所）



9月上旬 : 内々定

■ よくあるご質問について①

質問	回答
<p>転勤や出向はありますか？</p>	<p>現状転勤はありません。出向については何年か経験を積んで頂いた後に文部科学省への出向はあります。</p>
<p>ジェネラリスト、スペシャリストのどちらが求められますか？</p>	<p>2～3年毎に配置転換がありますので、様々な部署で経験を積んで頂き、研究所の全体最適を考えられる事務職としてのジェネラリストを目指して頂きます。</p>
<p>被災地に事務系職員が入る場合、どのような仕事をするのですか？</p>	<p>行政機関の災害対策本部等での事務支援（罹災証明書発行のサポートなど）や研究部門の事務補助を主に行っています。</p>
<p>防災科研では研修制度はありますか？</p>	<p>所内新人研修やE-ラーニング、その他外部の研修があります。</p>
<p>新卒の配属先はどこになりますか？</p>	<p>最初は事務部門内の部署へ配置されます。経験をつまれた後は、イノベーション共創本部や戦略的イノベーション推進室等の研究職の方々とより身近な部署にて働いていただくこともあります。</p>
<p>部署の兼務は頻繁にあるのでしょうか？</p>	<p>頻度についてはムラがありますが、必要に応じて兼務を行って頂くことはあります。</p>

■ よくあるご質問について②

質問	回答
異動は自分の希望が反映されますか？	希望のヒアリングはありますが、全体としての人員配置のバランスをとる兼ね合いがあるので、必ず通るものではありません。
新卒に求めるものはなんですか？	上司や周りの先輩職員の話はよく聞き、理解することに努めて下さい。メモは必ず取りましょう。報告・連絡・相談・確認は必須スキルです。
月の残業時間はどのくらいありますか？	配属部署や時期によって業務量の波がありますが、繁忙月で25時間～30時間程度で、所内の1人あたりの平均残業時間は5.3時間となります。
文系でも大丈夫でしょうか？	事務系の業務を行ううえでは問題ありません。部署によっては研究の内容にふれる部分もありますが、事務職として求められる水準は、仕事をしていくなかで自然と理解ができる程度となります。
女性は活躍していますか？	事務職員37人のうち女性は10名（昨年採用2名のうち1名女性）まだまだ少ないですが、皆さんが入所して経験を積んで頂くことで、係長や課長補佐、それ以上をぜひとも目指して頂きたいと思っております。

■ 防災科研をもっと知りたい方へ

▼ 防災科研『要覧』・・・

防災科研について、目的や体制などの組織概要や各センター・プロジェクトの研究活動の概要をまとめています。

<https://www.bosai.go.jp/introduction/abstract.html>

より、ダウンロード・閲覧が可能です。

▼ 防災科研『紹介動画』・・・

研究内容や施設などについてご紹介する動画を公開しています

<https://www.bosai.go.jp/introduction/movie.html>

より、視聴が可能です。

皆様のご応募をお待ちしております

問い合わせ先：防災科研総務課 坂田
TEL：029-863-7795
MAIL：koubo@bosai.go.jp